

第 6 章 様式集 他

	ページ
○施工計画書	6-1～
○工事記録綴	6-28～
○出来形管理書	6-43～
○一体化長さ早見表	6-50～
○S ベンド寸法表	6-63
○修繕伝票	6-64

令和〇〇年度

配水管布設工事（第〇〇〇工区）

施 工 計 画 書

〇〇〇〇会社

※施工計画書は当初、変更ともに内表紙を添付する。

目 次

1. 工事概要
2. 工事工程報告書
3. 現場組織表
4. 安全管理
5. 使用機械計画書
6. 資格者名簿
7. 使用管材表
8. 施工方法
9. 施工管理計画
10. 緊急時の体制及び対応
11. 交通管理
12. 環境対策
13. 現場作業等環境の整備
14. 再生資源の利用計画
15. 産業廃棄物処理計画書
16. 残土処理計画書
17. その他

注) その他必要な項目があれば適宜、作成する。

1. 工事概要

注) 工事概要については、下記の例示内容程度とする。

工事名	配水管布設工事（第〇〇〇工区）		
工事場所	高崎市 〇〇町 地内		
工期	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日		
契約金額	〇〇〇〇〇〇〇〇〇円（内消費税 〇〇〇〇〇〇〇円）		
発注者	高崎市上下水道事業管理者 〇〇 〇〇 水道局 工務課 高崎市高松町35番地1 TEL 027-321-1284		
施工者	〇〇〇〇会社 代表取締役 〇〇 〇〇 高崎市〇〇町〇〇〇番地 TEL 027-000-0000 現場代理人 〇〇 〇〇 主任技術者 〇〇 〇〇 (監理技術者 〇〇 〇〇)		
工事内容	配水管布設工	〇〇形 ϕ 〇〇〇mm 〇〇形 ϕ 〇〇〇mm 〇〇形 ϕ 〇〇〇mm	L=〇〇〇.〇m L=〇〇〇.〇m L=〇〇〇.〇m
	消火栓代替設置工	地下式	〇基
	消火栓新設設置工	地下式	〇基
	給水管切替工	〇〇箇所	〇〇戸
	付帯工	1式	

注) 変更は、見え消し+変更後(赤字)で記載

~~L=〇〇〇.〇m~~

L=〇〇〇.〇m

2. 計画工程表

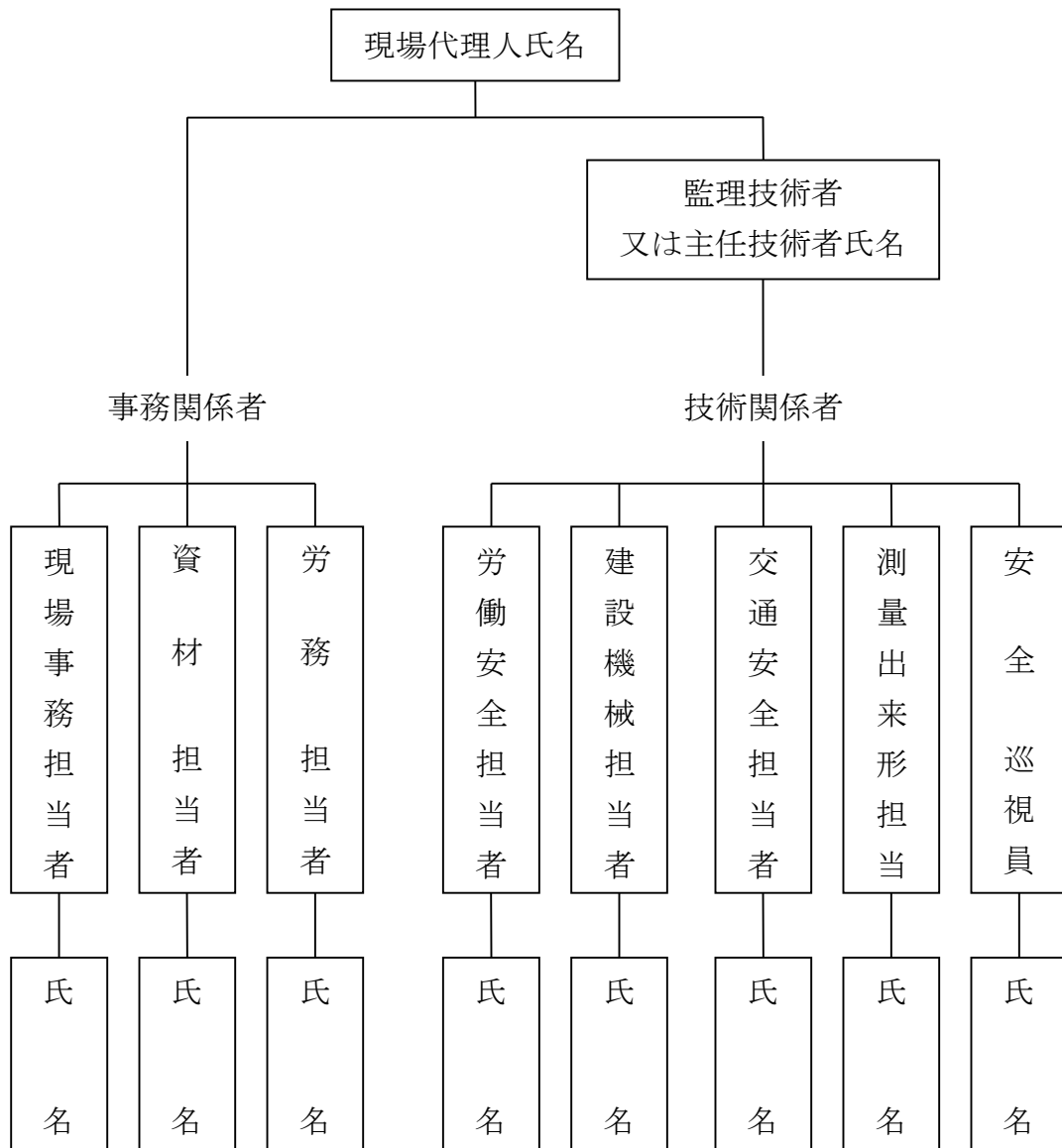
群馬県建設工事工程管理要領に定める工事工程報告書により作成する。

- 注) 1. 全体工事を構成する主要工種を縦に列記し、工期を横軸に示す。
2. 計画工程は各工種の上段に細線で実施工程は下段に太線で記入する。この場合において、実施工程の線は、計画工程の線長を100として、出来高比率を線長で記入する。
3. 計画工程を示す線の起点には着工の日付を、終点には完成の日付を記入する。
4. 実施工程を表す線の起点には着工の日付を、終点には毎月末における出来高比率を「〇〇月／〇〇日〇〇. 〇%」等と記入する。
5. 各月末日における工種別出来高比率を積算し実施工程欄に%で記入する。
6. 工種欄には主たる工種を記入すること。また数量欄には主たる数量を記入する。
7. 構成比欄には請負者の見積直接工事費より各工種の構成比を算出記入する。但し仮設費の占める割合が大きい場合は直接工事費＋仮設費とし、構成比は%止とする。
8. 数量、構成比、請負額等に変更が生じた場合は、
6 9. 3 のように記入する。
~~7 8. 5~~

3. 現場組織表

現場における組織の編成及び命令系統と業務分担がわかるものを記載する。

(例) 現場組織表



※組織に変更のあった場合は、再提出とする。

4. 安全管理

安全計画に必要なそれぞれの責任者や組織づくり、安全管理についての活動方針について記載する。

（例）

1) 方針

本工事施工にあたり、下記に掲げる対策を実施し、関係各所と十分な連絡調整のもとに安全な工事施工を行います。

2) 工事安全管理対策

- ① 安全管理組織は、現場組織が兼ねます。
- ② 現場内は、安全巡視を毎日行います。
- ③ 作業開始前に作業の内容、危険区域の範囲などを作業員に理解させた上で作業を行います。
- ④ 作業に際し、機械工具の点検を常時行い、安全なものを使用します。
- ⑤ 作業員は、ヘルメットを着用し、作業に適した服装をします。
- ⑥ 現場内は、常に整理整頓します。

3) 第三者施設安全管理対策

地下埋設物の位置の確認調査を行います。

4) 工事安全教育及び訓練についての活動

名 称	場 所	参 加 予 定 者	備 考
朝礼	現場	現場作業従事者	毎日
安全巡視	現場	安全巡視委員	毎日
安全・訓練等	現場	現場作業従事者	月に半日以上
新規入場者教育	現場	現場入場者	入場時

※ 安全・訓練等の実施日を工事工程報告書に記載する。

※ 安全・訓練等具体的があれば、記載する。

※ 月に半日以上の実施しを安全・訓練等を実施しなければならない。

５． 使用機械計画書

工事に使用する機械をすべて記載する。

(例)

使用機械計画書

工 種	機 械 名	規 格	台数	備 考
掘削，埋め戻し	バックホー			クレーン機能付
運搬	ダンプトラック			
転圧	ローラー			

※ 特定自主検査記録表の写しを監督員及び検査員へ提示する。

※ 資格者証の写しを監督員及び検査員へ提示する。

6. 資格者名簿

下記の有資格者を持って作業を遂行します。

(例)

資格者名及び免許番号一覧表

選 任 ・ 配 置 す べ き 者	適 用 範 囲 (業務内容)	資 格	氏 名	許 可 番 号
地 山 の 掘 削 作 業 主 任 者		技能講習修了者		
土 留 め 支 保 工 作 業 主 任 者		技能講習修了者		
玉 掛 け 作 業		技能講習修了者		
車 両 系 建 設 機 械 運 転 者		技能講習修了者		
移 動 式 ク レ ー ン 運 転 者		労働安全衛生法 5 9 条 3 項 特 別 教 育		
小 型 車 両 系 建 設 機 械		特 別 教 育		
ロ ー ラ ー の 運 転 業 務		特 別 教 育		
締 固 め 用 機 械 運 転 業 務		特 別 教 育		
JDPA継手接合研修会 K001 受講者		継 手 接 合		
水道配水用ポリエチレン管・ 継手施工技術講習会受講者		継 手 接 合		

※その他、必要な資格は追加する。

7. 使用管材表

設計書で品質・規格の定められた資材について記載する。

- ※ 設計書の記載順で必ず記入する。
- ※ 設計書の工種毎に記載する。

(例)

使用管材表

配水管布設工 HPPE ϕ 100mm

[illegible]

8. 施工方法

施工方法で記載すべき内容としては下記のものがある。

- 1) 施工方針
- 2) 準備に関する事項
(地下埋設物調査等がある。)
(断水等を伴う施工がある。)
- 3) 関係法規等の制約条件で重要なもの
(作業時間、交通規制等がある。)
- 4) 「工種」ごとの作業フロー、施工実施上の管理項目等
(「工種」ごとに施工条件、作業フロー、使用機械、施工実施上の管理項目等について具体的に記載する。)
- 5) 指定仮設、又は重要な仮設工に関するもの
(仮設電機設備等がある。)
- 6) 仮設場等の位置、構造
(工事全体に共通する、下記の間接仮設備の配置計画等については位置図、概略図を用いて具体的に記載する。)
 - ① 監督員詰所・現場事務所等の仮設建物
 - ② 材料・機械等の仮置場
 - ③ その他

(例)

1) 施工方針

本工事の施工に当っては、配水管布設工事(第〇〇工区)の設計書・設計図を十分に熟知し『高崎市水道工事必携』及び『建設工事必携 群馬県』に基づき、地域住民に迷惑を掛けず、且つ、安全に注意し災害防止に努め工事の早期完成を目標に施工をします。

2) 準備工

地下埋設物調査を行う。

関係法規等（交通規制）の申請をします。

① 市道路掘削並びに通行制限願

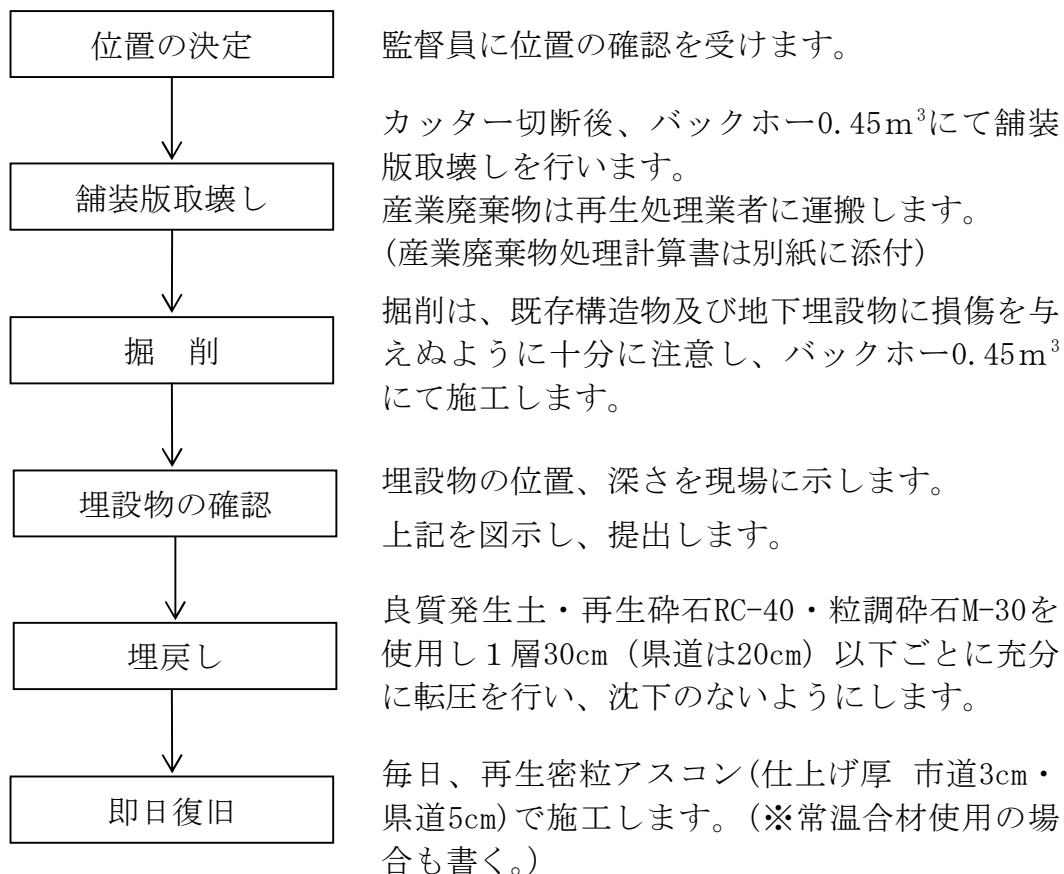
② 道路使用許可申請

設計書に基づき、監督員立会いの上で現場施工位置の確認を行います。

断水等を伴う施工がある場合はお知らせを配布し、書式を添付します。

3) 工種

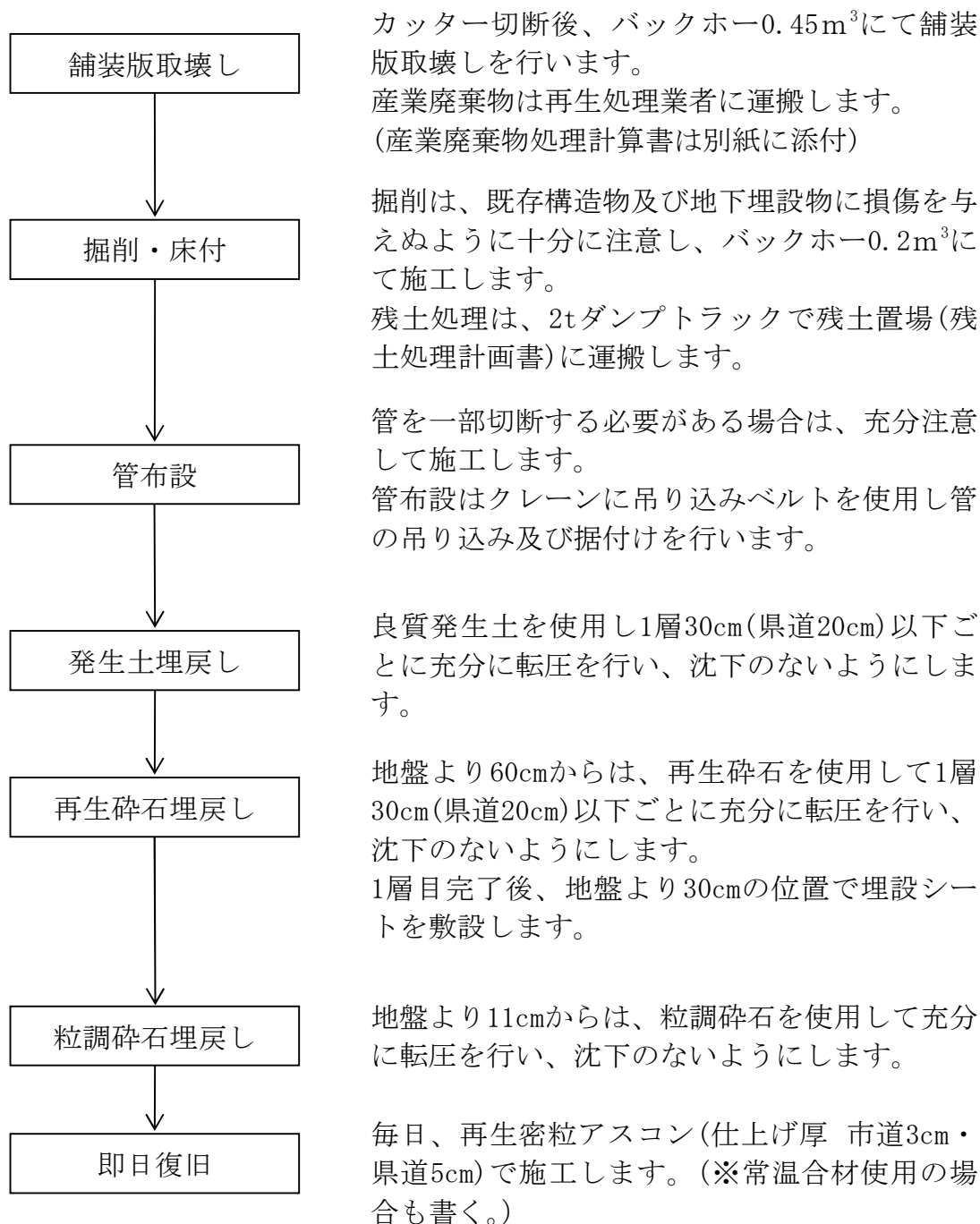
試験掘工



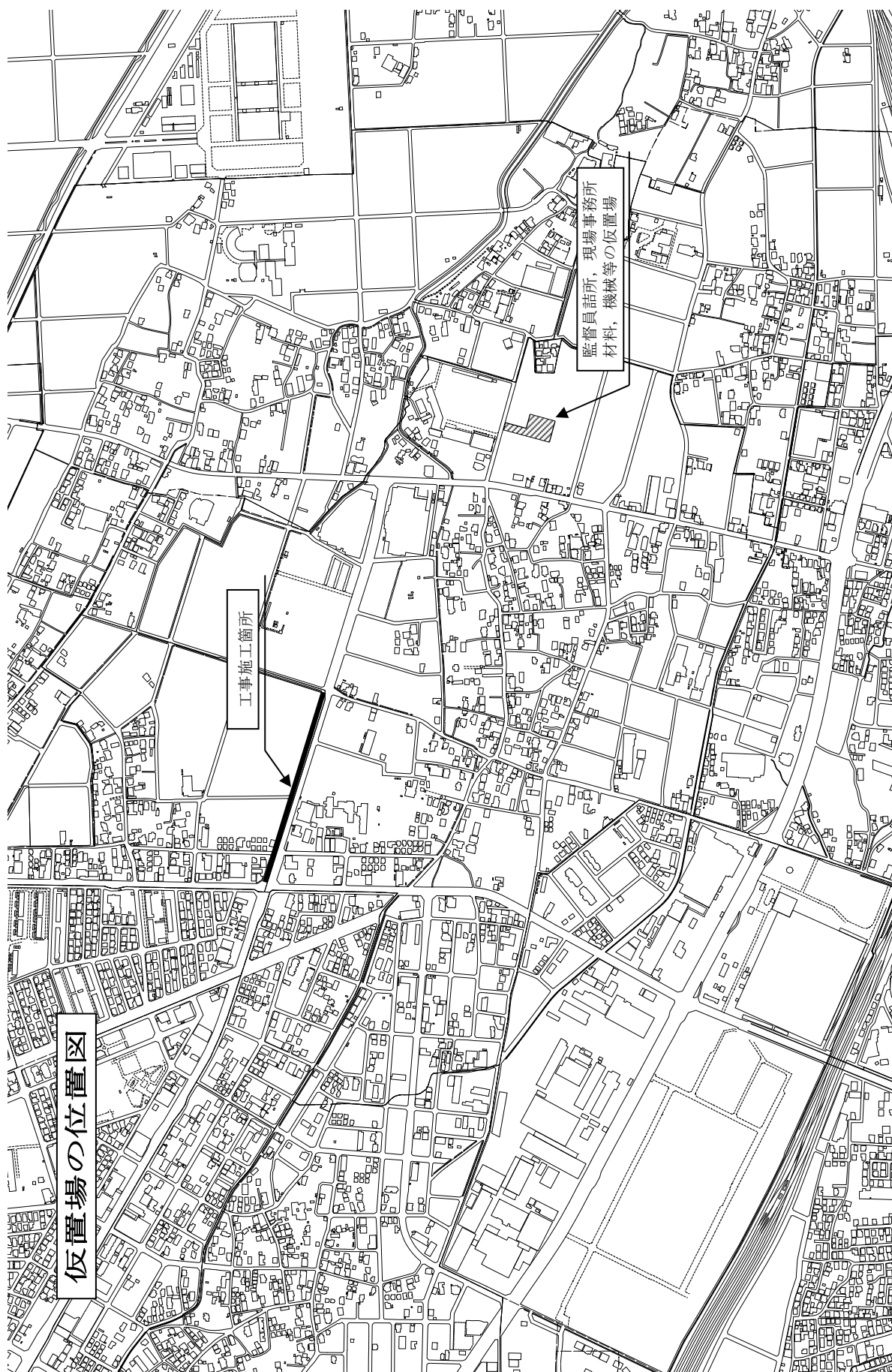
配水管布設工

材料搬入時に監督員の材料検査を受けます。

一日の作業フロー



※給水管切替工、消火栓設置工、舗装工等を必要に応じて記載すること。



仮置場の位置図

9. 施工管理計画

1) 施工管理方針

本工事の実施方法について記載する。

例；本工事は『高崎市水道工事必携』及び『建設工事必携 群馬県』に基づき施工管理を行います。

2) 工程管理

工程管理について、早期に着手・完了するよう具体的に記載する。

例；『高崎市水道工事必携』及び『群馬県建設工事工程管理要領』により管理します。

工事工程を常に把握し工事の促進、遅延防止に努めます。

3) 品質管理

品質管理について、材料の管理・保管方法を具体的に記載する。

例；『品質及び出来形管理表』により試験等するものは特になし。

材料の数量を常に把握するとともに、工事材料に使用するまで変質等がないよう保管・管理します。

4) 出来形管理

出来形管理の実施方法については、その工種・項目等を具体的に記載する。

例；『高崎市水道工事必携』及び『建設工事必携 群馬県』により、提出するものについて各工種・各項目を管理します。

提出するもの

- ① 完成図（案内図、配管図、管路平面図、配水管延長図、管路管理表、試掘断面図及び給水管取出管理表、管路オフセット図（S=Free、A 3））
- ② 総括表（各種計算書の総括）
- ③ 出来形計算書（様式の指定はしない。）
- ④ 給水管切替工事材料数量表（水道局指定の用紙を使う。）
- ⑤ その他

∴測点は延長100m未満の場合30m、延長100m以上の場合は50mとする。

5) 写真管理

写真管理の実施方法について具体的に記載する。

例；『高崎市水道工事必携』により下記の項目を行います。

区 分	工 種	測定項目	適 用
着手前及び 完成写真	着手前	全景又は代表部分	同一位置
	完 成	〃	
安全管理 写 真	安全管理	工事用看板 保安施設 作業帯 片側通行止(車両) 道路使用許可書 安全訓練等の実施状況	適所 交通誘導員 市道路掘削並びに通行制限願 道路使用許可申請
仮設写真	残土・資材置場 現場事務所 仮設電気 排水使用状況		適所
施工状況	工事施工中	進捗状況 施工中の写真	適所
	残土運搬	運搬先の運搬前後	
試験掘工	全箇所	(掘削) 延長・幅 (埋設管) 離れ・深さ (埋戻) 30cm転圧毎 (県道20cm)	箇所
管布設工	床付け	幅・深さ	測点ごと
	直管布設	離れ・管上深さ	〃
	異形管布設	布設状況	箇所
	継手接合部	接合完了時 ポリエチレンスリーブ ゴムバンド設置状況 メタルタッチ状況	〃
	融着接合部	スクレープ状況 継手部清掃状況 融着器具使用状況	測点ごと
	ライナ・コア設置	ライナおよびインナーコ ア設置完了時	箇所

区 分	工 種	測定項目	適 用
管布設工	切管及びP-Link G-Link設置	管切断 P-Link、G-Link接合 切管材料長	〃
	管挿入量確認	ゴム輪位置確認 再マーキング・挿入位置	測点ごと
	良質発生土埋戻し	30cm転圧毎(県道20cm)	〃
	埋設シート	地盤より30cm深 (県道70cm)	〃
	砕石埋戻し	30cm転圧毎(県道20cm)	〃
	舗装仮復旧工	厚さ	適所
弁設置工	一式	深さ 通水後に弁筐内を確認	箇所
給水切替工	使用材料	形状・寸法・切管	箇所
	床付け	幅・深さ	〃
	給水管布設	延長・深さ	〃
	継手接合部	接合完了時	〃
	水压検査	状況	〃
	洗砂埋戻し	30cm転圧毎(県道20cm)	〃
	埋設シート	地盤より30cm深 (県道70cm)	〃
	砕石埋戻し	30cm転圧毎(県道20cm)	〃
付帯工	舗装切断工	状況・厚さ	適所
	舗装本復旧工	状況・厚さ	〃
	区画線	状況	〃
	撤去工	(掘削) 延長・幅 (埋設物) 離れ・深さ (埋戻) 30cm転圧毎 (県道20cm) 状況	箇所

※必要に応じて監督員と協議し決定すること。

10. 緊急時の体制及び対応

大雨、強風等の異常気象時、又は地震発生時など、災害が発生した場合に対する体制並びに備蓄資材及び連絡系統を記載する。

(例)

1) 体制 現場内に下記の組織表等を置きます。

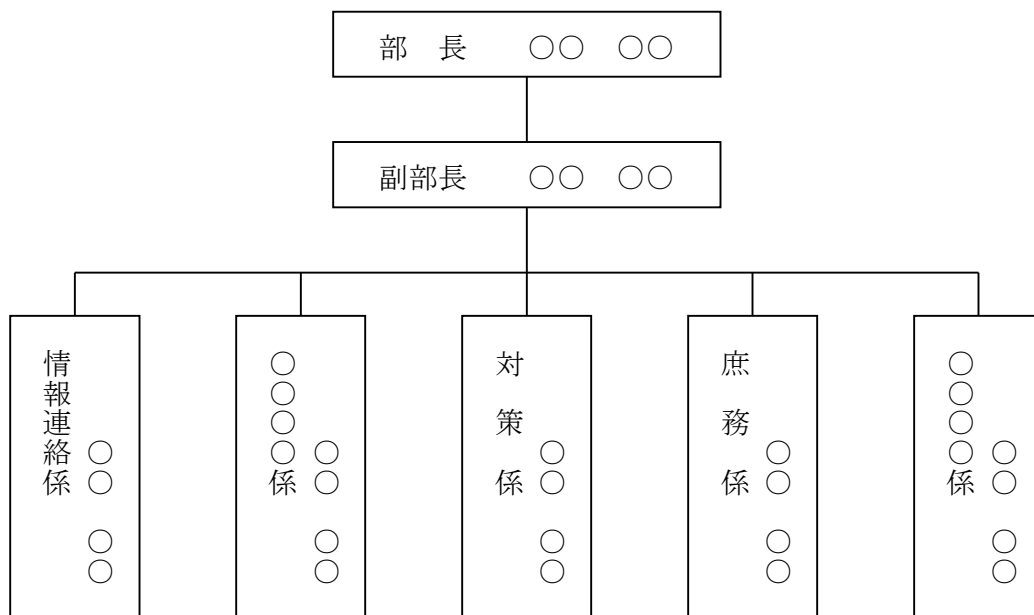
1. 災害対策組織表
2. 災害復旧用機材表
3. 連絡系統図

2) 対応

1. 大雨、強風などの異常気象等で災害発生のおそれのある場合には、工事を中止し、現場の整理を行って組織の体制に入り、必要に応じて現場内の警備に当たります。
2. 地震予知情報が発令された場合は、ただちに工事を中止し、現場の整理を行って避難体制をとります。

(例)

1) 災害対策組織表

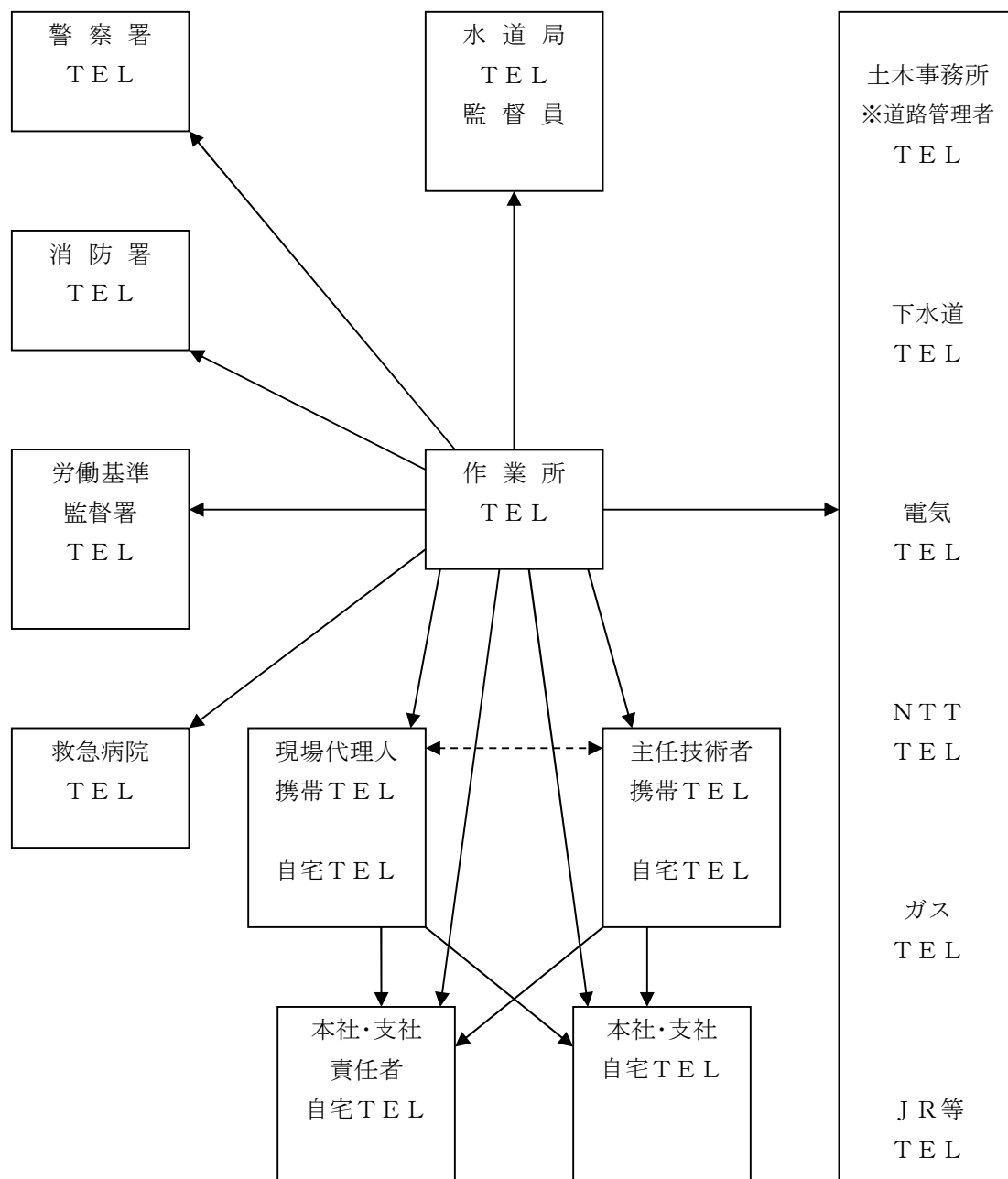


2) 災害復旧用機材

品 名	規 格	単 位	数 量
ダンプトラック	〇〇 t	台	〇〇
バックホー	〇〇m ³	台	〇〇
土のう		袋	〇〇
碎石	RC40-0	m ³	〇〇

3) 連絡系統図

工 区 名	町 名	工事施工業者
R〇〇-〇〇工区	〇〇〇町	〇〇〇〇会社



※ 現場代理人及び主任技術者は、常に連絡が取れ対応できるようにしておくこと。
携帯電話を所持している場合は、番号を忘れずに記入する。

1 1 . 交通管理

工事に伴う交通処理及び交通対策について記載する。

迂回路を設ける場合には、迂回路の図面及び安全施設、案内標識の配置図並びに交通整理員等の配置について記載する。

1) 方針を立てる。

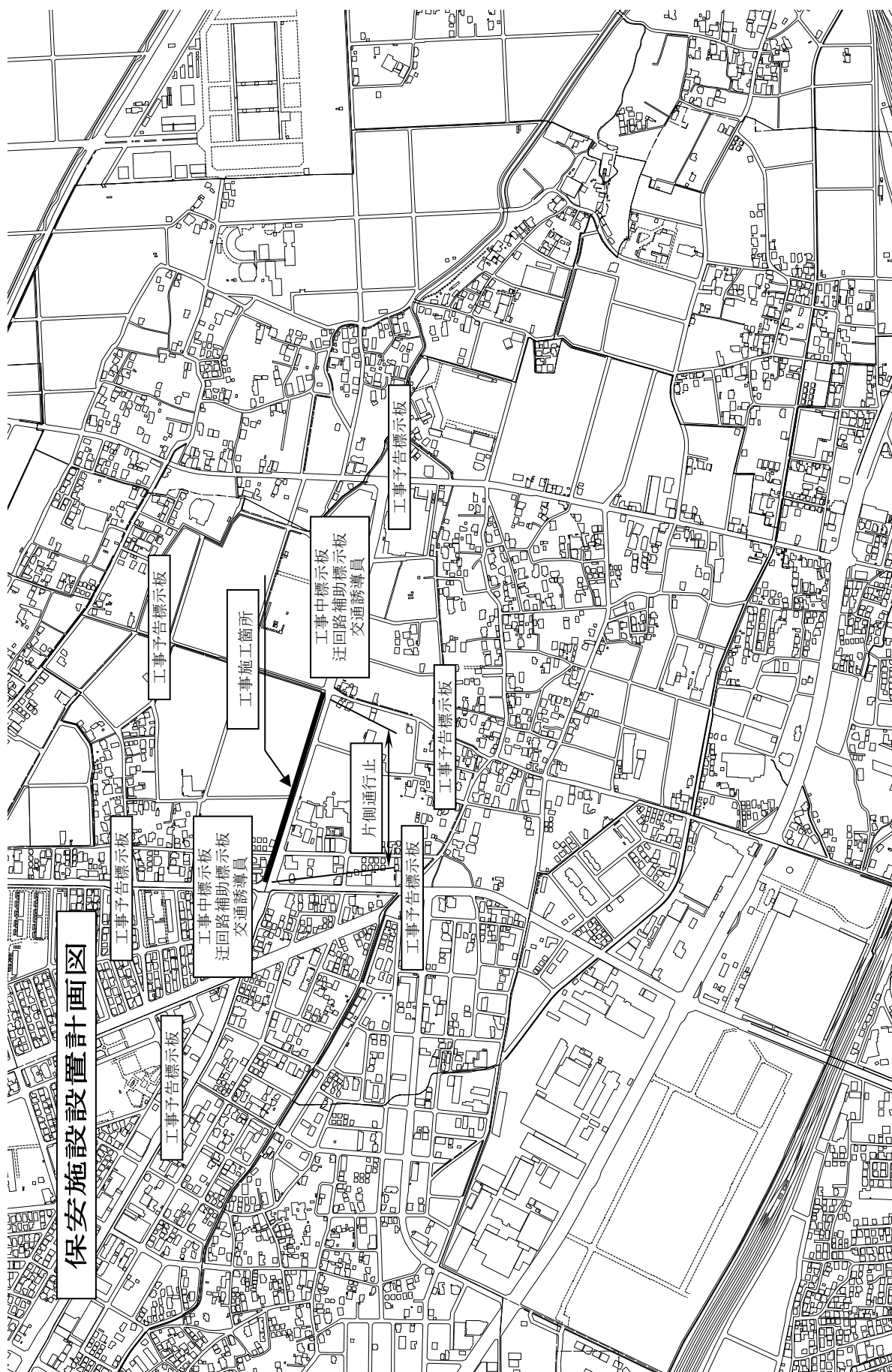
(例) 本工事は、道路幅員 6.0 m の北側に施工するため、全体を片側通行止めで、工事施工を計画した。

2) 保安施設設置の配置図を作成し添付する。

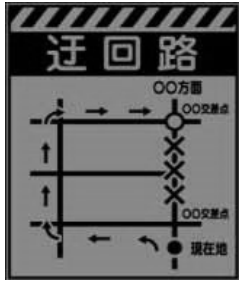
- ① 保安施設設置の配置図を作る。
- ② 構造図（保安施設標準様式図）を作る。

3) 交通誘導員配置計画を作成し配置図を添付する。

4) 市道通行制限申請書、道路使用許可申請書の許可を受ける。



路上工事用標示板の標準様式

名 称	工事中標示板	矢印板	工事予告標示板	速度落として ください標示板
標準寸法	1,200×800 (1,400×1,200)	900×550	1,200×300 (1,400×550)	1,200×300 (1,400×550)
標示板様式				
名 称	右(左)に寄って ください標示板	車線減少標示板	停止位置標示板	交互通行標示板
標準寸法	1,200×300 (1,400×550)	1,200×300 (1,400×550)	1,200×300 (1,400×550)	1,200×300 (1,400×550)
標示板様式				
名 称	工事区間終り 標示板	歩行者通路標示板	段差注意標示板	全面通行止予告 標示板
標準寸法	1,200×300 (1,400×550)	1,200×300 (1,400×550)	1,200×300 (1,400×550)	1,200×300 (1,400×550)
標示板様式				
名 称	全面通行止標示板		迂回路標示板	迂回路補助工事板
標準寸法	1,400×1,100		1,400×1,100	1,200×300 (1,400×550)
標示板様式				

※ 使用しない看板は斜線等で消す。

1 2 . 環境対策

近隣の住宅、病院、学校等の環境保全対策について、必要により記載する。

- ① 騒音、振動対策
- ② 水質汚濁
- ③ ゴミ、ほこりの処理
- ④ 苦情等の処理
- ⑤ 事業損失防止対策(家屋調査等)
- ⑥ その他

1 3．現場作業環境の整備

実施方法について記載する。

1 4 . 再生資源の利用計画

- ① 再生資源利用計画書
- ② 再生資源利用促進計画書

上記について、具体的に記載し出力票を添付する。

(例)

工事を実施するに当たって、再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書を「建設副産物情報交換システム (COBRIS)」により施工計画書提出時に出力票にて監督員へ提出します。また、これらの計画書の実施状況を入力した再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書を工事完成后速やかに「建設副産物情報交換システム (COBRIS)」により出力票を監督員に提出します。

発生資源 既設舗装材については、再生アスコン業者に運搬処理します。
(産業廃棄物処理計画書を別紙に添付)

使用資源 舗装復旧は、再生アスファルトで施工します。

※ 条件明示と異なる場合は、監督員に報告し、協議を行うこと。

1 5 . 産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 書

(例)

内 容 本現場より 1 0 . 0 m³ のアスファルト廃材が発生します。

処 理 地 ○○○○会社
 ○○市○○町○○○○番地
 T E L ○○○－○○○○

運搬方法 4 t ダンプトラック

運搬距離 片道 1 2 . 3 k m

位 置 図 別紙に添付 (運搬経路図)

- ※ 条件明示と異なる場合は、監督員に報告し、協議を行うこと。
- ※ 監督員から許可証の写し等の請求があった場合は提示すること。

1 6 . 残土処理計画書

(例)

内 容 本現場より 1 7 9 . 5 m³ の残土が発生します。

処 理 地 残土置場
 〇〇市〇〇町〇〇〇〇番地

運搬方法 4 t ダンプトラック

運搬距離 片道 6 . 0 k m

位 置 図 別紙に添付 (運搬経路図)

※ 事前に監督員に報告し、協議を行うこと。

目 次

1. 工事工程報告書
2. 建退共証紙受払簿
3. 建退共証紙貼付状況報告書
4. 工事打合せ書
5. 継手チェックシート
6. 水圧検査調書
7. 交通誘導員集計表
8. 段階確認書

注) その他必要な項目があれば適宜、作成すること。

工事工程報告書

入札日又は受注日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	入札番号		記号		番号	
(〇〇月15日・末日・完成分)							
工事名	配水管布設工事(第〇〇〇工区)			着工	令和〇〇年 6月10日	請負者	〇〇〇〇会社
工事場所	高崎市〇〇町 地内			工期	令和〇〇年 9月30日	主任技術者	〇〇 〇〇
				完成	令和 年 月 日		
工事	数量	構成比	7月	8月	9月	10月	11月
配水管布設工	φ100mm L=100.0m	65.0%	6/25 11% 6/30 7% 7/31 65% 8/20 100%	7/31 65% 8/1 7% 8/5 100% 8/15 100% 8/20 100% 8/31 90% 9/10 100%	8/20 100% 8/31 69% 9/10 100% 9/15 90% 9/20 100% 9/30 100%	9/10 100% 9/15 100% 9/20 100% 9/30 100%	10 20
消火栓設置工	1 基	8.0%	8/1 100% 8/5 100% 8/15 100% 8/20 100% 8/31 100% 9/10 100%	8/1 100% 8/5 100% 8/15 100% 8/20 100% 8/31 100% 9/10 100%	8/20 100% 8/31 100% 9/10 100% 9/15 100% 9/20 100% 9/30 100%	9/10 100% 9/15 100% 9/20 100% 9/30 100%	10 20
給水管切替工	10戸	15.0%	8/20 100% 8/31 100% 9/10 100% 9/15 100% 9/20 100% 9/30 100%	8/20 100% 8/31 100% 9/10 100% 9/15 100% 9/20 100% 9/30 100%	8/20 100% 8/31 100% 9/10 100% 9/15 100% 9/20 100% 9/30 100%	8/20 100% 8/31 100% 9/10 100% 9/15 100% 9/20 100% 9/30 100%	10 20
付帯工	1 式	10.0%	6/10 40% 6/25 40% 6/30 40% 7/31 40% 8/20 40% 8/31 40% 9/10 40%	6/10 40% 6/25 40% 6/30 40% 7/31 40% 8/20 40% 8/31 40% 9/10 40%	6/10 40% 6/25 40% 6/30 40% 7/31 40% 8/20 40% 8/31 40% 9/10 40%	6/10 40% 6/25 40% 6/30 40% 7/31 40% 8/20 40% 8/31 40% 9/10 40%	10 20
準備工及び後片付け	1 式	2.0%	6/10 40% 6/25 40% 6/30 40% 7/31 40% 8/20 40% 8/31 40% 9/10 40%	6/10 40% 6/25 40% 6/30 40% 7/31 40% 8/20 40% 8/31 40% 9/10 40%	6/10 40% 6/25 40% 6/30 40% 7/31 40% 8/20 40% 8/31 40% 9/10 40%	6/10 40% 6/25 40% 6/30 40% 7/31 40% 8/20 40% 8/31 40% 9/10 40%	10 20
安全・訓練等	計画日 実施日		〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇	〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇	〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇	〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇 〇/〇	10
請負額	計画工程	7.6 %	42.7 %	83.8 %	100.0 %	%	%
〇〇〇〇 千円	実施工程	5.0 %	49.2 %	86.9 %	100.0 %	%	%
遅延理由※							
回復措置※							

※ 計画工程に対して、10%以上遅延した場合は、「遅延理由」、「回復措置」を記入する。

共濟証紙受払簿

共済契約者名				⑨決算日 令和 年 月 日 決算 期間										◎ この受払簿は、受入・払出の都度、掛金収納書などをみて日付を所定欄に記入し、決算毎に合計を出して整理して下さい。 ◎ 共済手帳に250日(掛金助成手帳は200日)分の証紙を貼り、手帳の更新をすませた時にはこの受払簿にも記帳して下さい。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
共済契約成立年月日(S・H・R)				年 月 日				一				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月 日				年 月			

(注) の箇所に必要事項入力。
必ず、受入・払出年月日を入力。

建設業退職金共済証紙貼付状況報告書

報告日 令和 年 月 日

元 請 名	共済契約者(下請)名			
工 事 名	一			
工事コード	共済契約者番号	令和 年 月 日	、	日
被共済者数	人	延べ就労日数	日	

< 月分> もしくは <工事終了日 年 月 日>

受 入		貼 付		払 出			証紙残枚数
受入年月日	受入枚数	貼付年月日	被共済者数	共済手帳への証紙貼付枚	払出年月日	下 請 名	
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
年 月 日	枚	年 月 日	人	枚	年 月 日		枚
合 計	枚	合 計	人	枚	合 計		枚

以上のとおり報告致します。

(注) の箇所に必要事項入力。
必ず、受入・貼付・払出年月日を入力。

工事打合せ簿

発議者		☐ 発注者	☐ 受注者	発議年月日			
発議事項		☐ 指示 ☐ 協議 ☐ 通知 ☐ 承諾 ☐ 報告 ☐ 提出 ☐ その他（　　　　　　　　　）					
工事名		○○○○○ （内容）					
添付図葉、その他添付図書							
処理・回答	発注者	上記について ☐ 指示 ☐ 承諾 ☐ 協議 ☐ 提出 ☐ 受理 します。 ☐その他 [] 年月日：					
	受注者	上記について ☐ 承諾 ☐ 協議 ☐ 提出 ☐ 報告 ☐ 受理 します。 ☐その他 [] 年月日：					

総括 監督員	主任 監督員	監督員

現 場 代理人	主 任 (監 理) 技術者

令和 年 月

町内各位

〇〇〇〇株式会社

水道工事のご案内

この度、下記のとおり水道工事を請負う事となりました。工事中はなにかとご迷惑をおかけ致しますが、ご協力くださいますようお願い致します。

工事に関してお聞きになりたい事がありましたら当社までご連絡下さい。

記

工 事 場 所		高崎市	地内（案内図参照）
工 事 名		配水管布設工事（第 工区）	
工事予定期間		自 令和 年 月中旬 至 令和 年 月下旬	
問 い 合 わ せ 先	施 工 業 者	社 名 : 電 話 :	
	現 場 担 当	氏 名 : 携 帯 :	
そ の 他		・朝晩の通勤時間帯は、通行できるようにいたします。 ・日曜日は工事をいたしません。（緊急時を除く） ・通行に当たって特別な事情があるときは、あらかじめご連絡いただければ、対応させていただきます。 ・詳細につきましては、その都度現場にて対応させていただきますので、お気軽にお声をお掛けください。	

【 注意 】 案内図は、個人情報載っている住宅地図を使用しないで下さい。

令和 年 月 日

水道をご利用のみなさまへ

高崎市水道局 工務課

水道工事に伴う敷地内掘削承諾のお願い

日頃より水道事業に対し、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます
水道工事に伴い、新しい給水管に切り替える工事（本管～メーターまで）
を行うため、敷地内への立ち入り及び掘削の承諾をお願いします。

特に年数が経過した給水管は、漏水の危険性が高まりますので、この機
会に給水管の切り替え工事をさせていただきますようお願いします。

工事については、大変ご迷惑をお掛けしますが、ご協力のほどよろしく
お願いします。

工 事 名 配水管布設工事（第〇〇〇工区）

工事場所 高崎市〇〇町〇〇〇〇地内

受注業者 〇〇〇〇株式会社 担当 TEL 027-321-1284

発 注 者 高崎市水道局工務課 担当 TEL 027-321-1284

宅地内の掘削を承諾します。

令和 年 月 日

住所：

名前：

※敷地内掘削後の復旧は、原状復旧となります。化粧砂利・コンクリート等
で復旧する場合、色味の違いや継ぎ目ができることを、ご了承ください。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

水道利用者の皆様へ

断水及び減水のお知らせ(例)

水道工事のため、下記のとおり断水または減水となりますので、ご協力お願いいたします。

日時

令和〇〇年〇〇月〇〇日（〇） 午後〇〇時〇〇分から
午後〇〇時〇〇分まで

区域

高崎市〇〇町の一部（案内図参照）

※案内図には個人情報載っている住宅地図は使用しないこと。
（著作権の問題もあります）

※お願い

- ①工事の都合により時間が前後することがありますが、ご了承ください。
- ②雨天の場合、順延となることもあります。
- ③お手数でも飲み水は、汲み置いてください。
- ④工事が終わっても通水したとき水が濁ることがありますが、しばらくするときれいになります。

高崎市水道局工務課

TEL 027-321-1284

施工業者 〇〇〇〇会社

TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

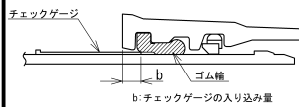
GX形継手 チェックシート(直管・P-Link)

年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

		配管工

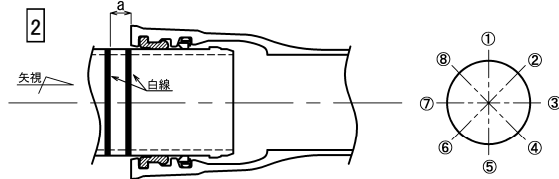
1 直管



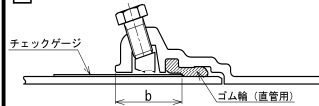
b寸法の合格範囲

呼び径	合格範囲 (mm)
75	8～18
100	8～18
150	11～21
200	11～21
250	11～21
300	14～24
350	14～25
400	14～25
450	14～25

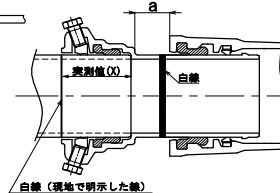
2



3 P-Link (締め付けトルク: 100N・m)



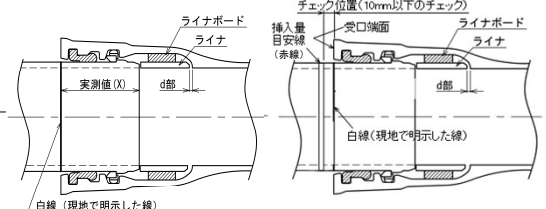
4 (締め付けトルク: 100N・m)



5

(直管挿し口を挿入する場合) (異形管挿し口、P-Linkを挿入する場合)

6



管 No.									
管の種類									
略図/ライナ									
継手 No.									—
挿し口突部の有無									—
清掃・異物の除去									—
ライナの位置確認(d部)※1									5 6
受口溝(ロック)の確認									—
挿し口の挿入量の明示									4 5
爪、押しボルトの確認(P-Link)									—
滑 剤									—
マーキング(白線)位置の確認※2									4 5
挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離の確認(異形管挿し口)※3									6
マーキング(白線)の明示(異形管挿し口)※4									6
受口端面～ゴム輪 間隔(b)※5	全周チェック								
	①								
	②								
	③								1
	④								3
	⑤								
	⑥								
	⑦								
受口端面～白線 間隔(a)注	①								2
	③								4
	⑤								
	⑦								
押しボルト	本数								
	トルク確認								4
判 定									—
備 考									

判定基準 : ※1 ライナが受口奥部に当たっていることを確認する。
 ※2 接合直後にマーキング(白線)位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。
 ※3 挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離が全周にわたり10mm以下であるか確認する。
 ※4 挿し口外周へ受口端面位置の白線を表示したか確認する。
 ※5 受口端面～ゴム輪間隔(b)が表に示す合格範囲内であること。また、曲げ接合してチェックゲージがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。
 注) P-Linkの場合は受口端面からの直部長さ 4 a寸法を記入する。

EF 接合チェックシート

工事名									
管種・口径	管種：	口径：			mm	施工ヶ所：			
発電機	仕様：				正常作動確認：				
コントローラ	仕様：				正常作動確認：				
管 No.									
継手 No.									
略図									
施工条件	天候								
	陸継ぎの有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
	曲げ施工の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
	湧水の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
融着	管の点検・清掃								
	スクレープ								
	エタノール(アセトン)清掃								
	標線の確認								
	通電終了時刻	:	:	:	:	:	:	:	
検査	インジケータの確認								
	気温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	
	融着時間	秒	秒	秒	秒	秒	秒	秒	
	クランプ 取り外し時刻	:	:	:	:	:	:	:	
同時通電	同時通電	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
	同時接合箇所No.								
接合総合判定		合・不	合・不	合・不	合・不	合・不	合・不	合・不	
備考									
特記事項									
施工年月日		施工会社名			継手施工者		有資格者		現場代理人
令和 年 月 日									

〔水道配水用ポリエチレン管用EFコントローラ・専用工具 日常点検チェックシート〕

点検日時 年 月 日 時

点検者名

	確認項目	確認内容	確認結果	
	EF コントローラ	外観確認	コントローラ本体に破損・損傷がないか確認して下さい	☐ 良好
電源・出力ケーブルに破損・損傷がないか確認して下さい			☐ 良好	☐ 異常
付属品		付属品は揃っていますか	マルチアダプター2個1組 ☐ 4.0mm用 ☐ 4.7mm用 ☐ バーコードリーダー ☐ 電源変換アダプターケーブル	
		機能確認	出力コネクタとマルチアダプターの差込具合は良好ですか	☐ 良好
マルチアダプターに異物が混入していませんか			☐ 良好	☐ 異常
マルチアダプターの電極端子が変形していませんか			☐ 良好	☐ 異常
マルチアダプターの電極端子の保持力は充分ですか			☐ 良好	☐ 異常
電動ファンは作動していますか			☐ 良好	☐ 異常
バーコードリーダーは発光していますか			☐ 良好	☐ 異常
液晶画面は正常に表示されていますか				
※日時・時刻は正しく表示されていますか	☐ 良好		☐ 異常	
※外気温は表示されていますか	☐ 良好	☐ 異常		
※入力電圧が表示されていますか	☐ 良好	☐ 異常		
		漏電ブレーカの動作確認をして下さい	☐ 良好	☐ 異常
専用 工具類	工具	確認内容	確認結果	
	クランプ	各部に破損や汚れはありませんか	☐ 良好	☐ 異常
		各部(可動部、締付け部)の作動具合は良好ですか	☐ 良好	☐ 異常
	スクレーパ	各部に破損や汚れはありませんか	☐ 良好	☐ 異常
		各部(可動部、締付け部)の作動具合は良好ですか 切削具合は良好ですか(刃部の調整または刃の交換の要否確認)	☐ 良好	☐ 異常
	カッター	刃の破損や曲がりはありませんか	☐ 良好	☐ 異常
切断具合は良好ですか(刃の交換の要否確認)		☐ 良好	☐ 異常	
延長コード	破損や汚れはありませんか	☐ 良好	☐ 異常	
		通電チェックをして下さい	☐ 良好	☐ 異常

点検日時 年 月 日 時

点検者名

	確認項目	確認内容	確認結果	
	EF コントローラ	外観確認	コントローラ本体に破損・損傷がないか確認して下さい	☐ 良好
電源・出力ケーブルに破損・損傷がないか確認して下さい			☐ 良好	☐ 異常
付属品		付属品は揃っていますか	マルチアダプター2個1組 ☐ 4.0mm用 ☐ 4.7mm用 ☐ バーコードリーダー ☐ 電源変換アダプターケーブル	
		機能確認	出力コネクタとマルチアダプターの差込具合は良好ですか	☐ 良好
マルチアダプターに異物が混入していませんか			☐ 良好	☐ 異常
マルチアダプターの電極端子が変形していませんか			☐ 良好	☐ 異常
マルチアダプターの電極端子の保持力は充分ですか			☐ 良好	☐ 異常
電動ファンは作動していますか			☐ 良好	☐ 異常
バーコードリーダーは発光していますか			☐ 良好	☐ 異常
液晶画面は正常に表示されていますか				
※日時・時刻は正しく表示されていますか	☐ 良好		☐ 異常	
※外気温は表示されていますか	☐ 良好	☐ 異常		
※入力電圧が表示されていますか	☐ 良好	☐ 異常		
		漏電ブレーカの動作確認をして下さい	☐ 良好	☐ 異常
専用 工具類	工具	確認内容	確認結果	
	クランプ	各部に破損や汚れはありませんか	☐ 良好	☐ 異常
		各部(可動部、締付け部)の作動具合は良好ですか	☐ 良好	☐ 異常
	スクレーパ	各部に破損や汚れはありませんか	☐ 良好	☐ 異常
		各部(可動部、締付け部)の作動具合は良好ですか 切削具合は良好ですか(刃部の調整または刃の交換の要否確認)	☐ 良好	☐ 異常
	カッター	刃の破損や曲がりはありませんか	☐ 良好	☐ 異常
切断具合は良好ですか(刃の交換の要否確認)		☐ 良好	☐ 異常	
延長コード	破損や汚れはありませんか	☐ 良好	☐ 異常	
		通電チェックをして下さい	☐ 良好	☐ 異常

水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管の接合作業チェックシート

施 工 日

令 和

年

月

日

工事名・工区

管種・呼び径

 VP ・ HIVP ϕ
 (どちらかに○をつけて下さい)

図面 No.

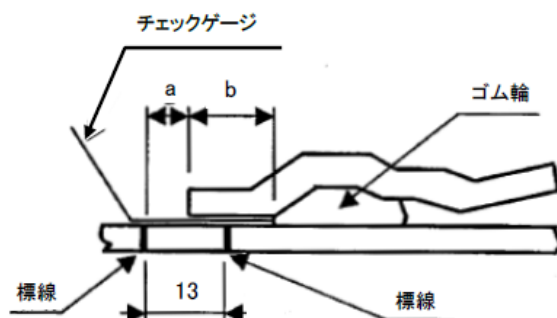


表 製品の寸法 (参考)

単位 : mm

呼び径	a 寸法	b 寸法	
		I 形	II 形
50	0~13	19~29	16~26
75		20~30	
100		25~40	
150		25~40	
200		35~50	

【判定基準】

1. a 寸法は、1カ所測定し、標線の間にあること。
2. b 寸法は、上表の数値を参考に 4カ所の測定値の最大、最小の差が 10mm以内であること。

継手箇所数		1	2	3	4
略 図					
1) ゴム輪清掃					
2) 滑材塗布					
3) ゴム輪確認					
4) a 寸法					
5) b 寸法	①				
	②				
	③				
	④				
判 定					

【備考】

	継手施工者	有資格者	現場代理人

水圧検査測定調書							
工事名	〇〇〇〇事業 配水管布設工事(第〇〇工区)		現場代理人 氏名				
工事場所	高崎市 〇〇町 地内						
施工業者	(株)〇〇設備		監督員				
路線名	管種・口径	実施日時	試験時間	開始	終了	延長	漏水
A路線	HPPE φ 100	R1.8.3 10:30	5分間	0.75 MPa	0.72 MPa	138.1 m	有・無
〃	〃	R1.8.3 10:40	60分間	0.50 MPa	0.45 MPa	138.1 m	有・無
B路線	DIP φ 150	R1.9.3 10:00	5分間	0.75 MPa	0.71 MPa	40.2 m	有・無
残留塩素確認		0.2 mg/l	自然圧	0.39 Mpa	排水量		20 m³
摘要							
検査意見							
合否	合格 ・ 不合格						

※段階確認の状況、結果等が確認できる写真を添付すること。

交通誘導員集計表

工 事 名	配水管布設工事（第〇〇工区）	
工 事 場 所	高崎市 〇〇町 地内	
工 期	令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日	
日 付	人数	
	交通誘導員 A	交通誘導員 B
令和〇年〇月〇日	1 人	2 人
令和〇年〇月〇日	1 人	2 人
令和〇年〇月〇日	1 人	2 人
令和〇年〇月〇日	1 人	3 人
合計	4 人	9 人

警備会社	〇〇警備保障
------	--------

段 階 確 認 書 施 工 予 定 表

年月日：

特記仕様書第 条に基づき、下記のとおり施工段階の予定時期を報告いたします。

工事名 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工
事

受注者名：
現場代理人名等：

種 別	細 別	確認時期項目	施工予定時期	記 事

年月日：

通 知 書

下記種別について、段階確認を行う予定であるので通知します。

監督職員名：

確 認 種 別	確 認 細 別	確認時期項目	確認時期予定日	確認実施日等

年月日：

確 認 書

上記について、段階確認を実施し確認した。

監督職員名：

目 次

1. 出来形総括表
2. 完成図
3. 出来形数量計算書
4. 直管使用材料明細書
5. 配水管使用材料明細書
6. 残管及び発生材料明細書
7. 給水管切替工事数量表

注) その他必要な項目があれば適宜、作成すること。

出 来 形 総 括 表

※ 工種ごとに記入すること。

工 種	出 来 形	備 考
配水管延長 GX φ 300mm	〇〇m	
HPPE φ 100mm	〇〇m	
土工延長	〇〇m	
消火栓設置	〇基	
空気弁設置	〇基	
給水切替戸数	〇〇戸	
試験掘り	〇〇m	
舗装切断延長	〇〇m	
分水止め	〇箇所	
仕切弁撤去	〇基	
埋設シート	〇〇m	
仮舗装平積	〇〇m ²	
舗装復旧平積	〇〇m ²	
廃材処理	〇〇m ³	
区画線	〇〇m	
交通誘導員	〇〇人	明細書より

直管使用材料明細書

1 本物\本管口径	φ mm	数 量
鑄 鉄 直 管	形	

切り管\本管口径			形 φ mm		
番号	甲切り管	乙切り管	番号	甲切り管	乙切り管
()	m()	m()	()	m()	m()
	m()	m()		m()	m()
	m()	m()		m()	m()
()	m()	m()	()	m()	m()
	m()	m()		m()	m()
	m()	m()		m()	m()
()	m()	m()	()	m()	m()
	m()	m()		m()	m()
	m()	m()		m()	m()
()	m()	m()	()	m()	m()
	m()	m()		m()	m()
	m()	m()		m()	m()
()	m()	m()	()	m()	m()
	m()	m()		m()	m()
	m()	m()		m()	m()

1 本物+切り管	本	1 本物+切り管	本
----------	---	----------	---

※甲切りとは、受口を含む切管をいう。

乙切りとは、受口を含まない切管をいう。

() は、使用、又は残管を記入する。使用途中のものには記入しない。

※口種・管径ごとに作成すること。

ϕ mm 配水管使用材料明細書

- ※ 設計書の順番で記入すること。
- ※ 設計書の工種毎に記入すること。
- ※ 使用している材料のみ記入すること。

[illegible]

高崎市水道局(請負業者)⇒〇〇〇〇(当該年度処理業者名)

工 事 名 : _____
 工事場所 : _____
 請 負 者 : _____

監督員
印

令和 年 月 日

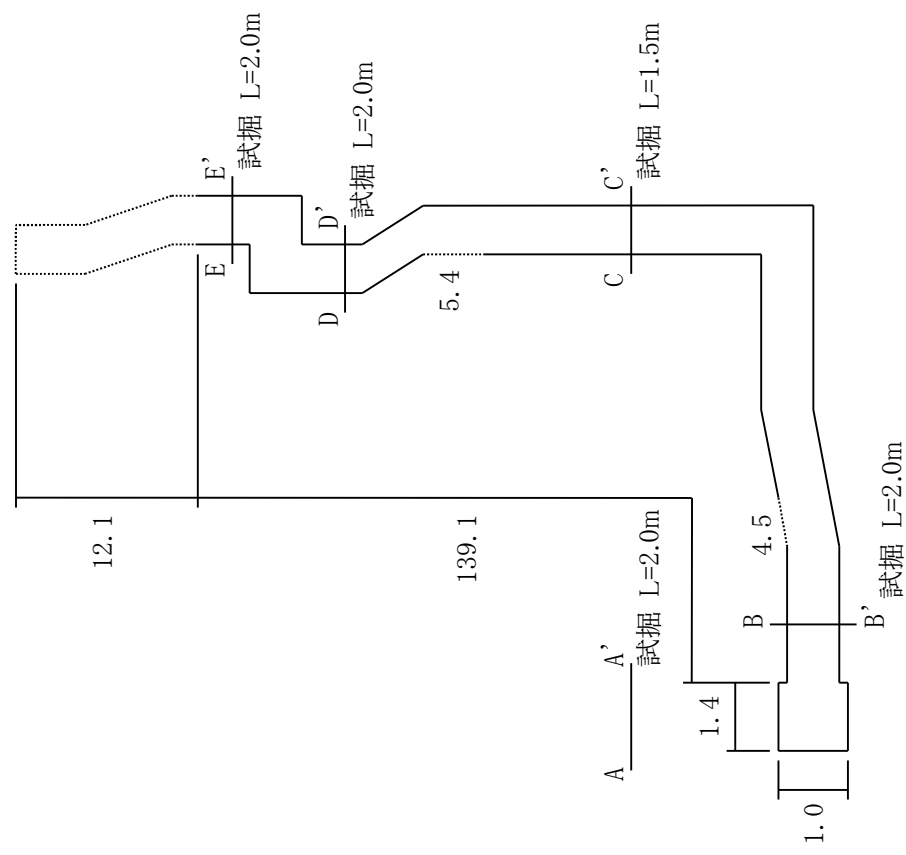
残管及び発生材(撤去品)明細書

残管				
No		形 φ mm	形 φ mm	形 φ mm
1	甲 切 り			
2	〃			
3	〃			
1	乙 切 り			
2	〃			
3	〃			
4	〃			
5	〃			
6	〃			
7	〃			
8	〃			
9	〃			
10	〃			
11	〃			
12	〃			
発生材(撤去品)				
No	品 名	規格・形状寸法	単位	数量
1	仕 切 弁 筐		基	
2	仕 切 弁 筐		基	
3	仕 切 弁		基	
4	消 火 栓		基	
5	鉄 蓋		式	
6	止 水 栓 筐		個	
7				
8				
9				
10				
11				
12				

注) 泥等は良く落とし、管材及び金物のみ搬入してください。

出来形計算書 ※ Aサイズ (A1, A2, A3, A4) とし、用紙は指定しない。

[φ 100mm 布設工]



①	土工延長	舗装道 砂利道 不断水取出し	=139.1 m = 12.1 m L=1.0m W=1.4 m
②	舗装切断延長 (10cm)		$139.1 \times 2 - (4.5 + 5.4) + ((1.4 + 1.0) \times 2 - 0.6) = 264.1 \text{ m}$
③	仮舗装平積 (再生 AS 3cm)		$139.1 \times 0.6 + 1.4 \times 1.0 = 84.8 \text{ m}^2$
④	埋設シート		=151.4 m
⑤	試験掘 (幅 0.6m) A-A' B-B' C-C' D-D' E-E'		$2.0 + 2.0 + 1.5 + 2.0 + 2.0 = 9.5 \text{ m}$
⑥	分水止 (幅 0.6m)		1 箇所
⑦	舗装復旧平積 (再生 A s 4cm)		$84.8 + (2.0 + (2.0 - 0.6) + (1.5 - 0.6) + (2.0 - 0.6) + (2.0 - 0.6)) \times 0.6 = 89.0 \text{ m}^2$
⑧	廃材処理		$89.0 \times 0.04 = 3.5 \text{ m}^3$
⑨	廃材処理		$84.8 \times 0.03 = 2.5 \text{ m}^3$

給水管切替工事材料数量表
(φ mm)

※必ず合計を書く。
シールパッキンについては記入しない。
波状管が4m以下のものには伸縮継手は記入しない、
※切替前が鉛管だった場合、表中に明記すること。

No.	住 所	氏 名	量水器 番号	水栓 コード	切替前 管種 (鉛管記入)	サドル分水栓		波状管		直管		K-S		乙止水栓		SFU-1	ブッシング		乙止水栓置 (承板 組)		小穴工(箇所)		横断工(m)			埋設 シート
						個	20	25	20	25	m	m	組	20	25	L=800	20×	25×	組	800	組	市	県	市	舗	砂
①																										
②																										
③																										
④																										
⑤																										
⑥																										
⑦																										
⑧																										
⑨																										
⑩																										
計																										

No.	舗装切断(m)			舗装切断(m ²)				建設廃材(m ³)												
				As 20mm	As 30mm	Co	仮小穴 1×W	仮横断 0.55×L	本横断 1.15×L	宅内 0.3×L	小計	処理	委託 〃×0.03							
①																				
②																				
③																				
④																				
⑤																				
⑥																				
⑦																				
⑧																				
⑨																				
⑩																				
計																				

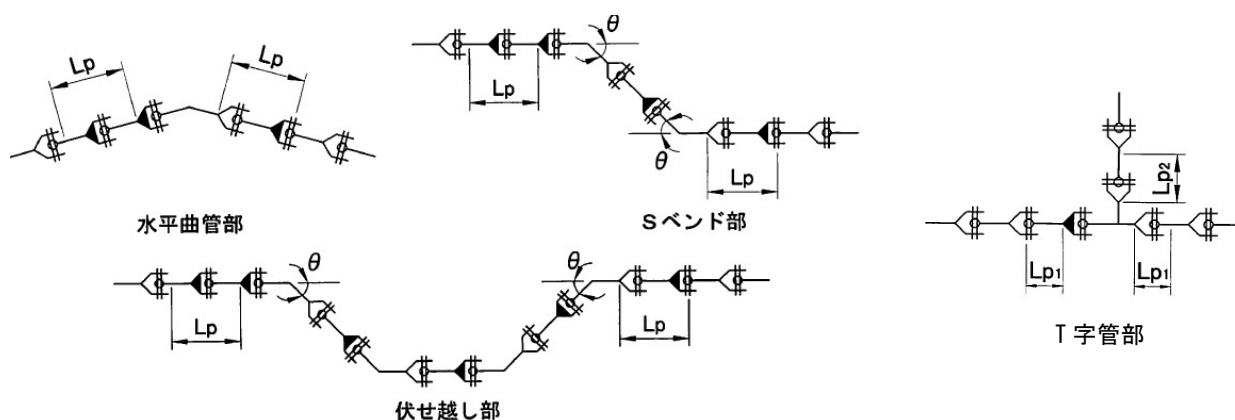
(参考) 一体化長さ早見表

1. GX 形ダクタイル鉄管

(引用元：GX 形ダクタイル鉄管管路の設計)

GX 形の曲管部および T 字管部の一体化長さには、以下に示す早見表を適用することができる。また、以下に表記のないものについては、ダクタイル鉄管協会技術資料を参照すること。

○ 曲管部および T 字管部



曲管部および T 字管部の一体化長さ（呼び径 75～300）単位：m

呼び径	曲管部 ¹⁾						T字管部 ²⁾		
	22.5°以下		22.5°を超え 45°以下		45°を超え 90°以下				
	設計水圧 (MPa)		設計水圧 (MPa)		設計水圧 (MPa)		設計水圧 (MPa)		
	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	
75	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	4.0	1.0	1.0	
100					4.0	5.0		6.0	
150						6.0			
200						8.0			
250		2.0		2.0	6.0	11.0	2.0	7.0	
300		2.0		7.0		7.0	16.0	7.0	13.0

曲管部および T 字管部の一体化長さ（呼び径 350～450）単位：m

呼び径	曲管部 ¹⁾ 土被りh=1.2m					
	22.5°以下		22.5°を超え 45°以下		45°を超え 90°以下	
	設計水圧 (MPa)		設計水圧 (MPa)		設計水圧 (MPa)	
	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3
350	1.0	2.0	3.0	7.0	8.0	15.0
400			4.0		9.0	17.0
450		3.0		9.0	10.0	19.0

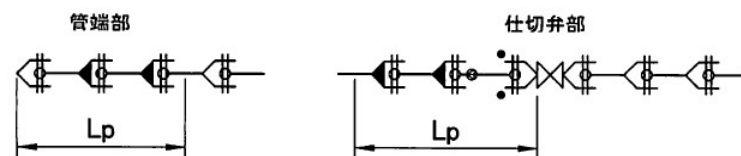
呼び径	曲管部 ¹⁾ 土被りh=1.5m					
	22.5°以下		22.5°を超え 45°以下		45°を超え 90°以下	
	設計水圧 (MPa)		設計水圧 (MPa)		設計水圧 (MPa)	
	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3
350	1.0	2.0	3.0	7.0	7.0	13.0
400			4.0		8.0	15.0
450		3.0		9.0		16.0

T字部 ²⁾ 土被りh=1.2m			
本管側 呼び径	枝管側 呼び径	設計水圧 (MPa)	
		0.75	1.3
350	350	7.0	14.0
400	300	6.0	12.0
	400	7.0	16.0
450	300	5.0	12.0
	450	8.0	18.0

T字部 ²⁾ 土被りh=1.5m			
本管側 呼び径	枝管側 呼び径	設計水圧	
		0.75	1.3
350	350	7.0	13.0
400	300	5.0	10.0
	400	7.0	15.0
450	300	4.0	10.0
	450	8.0	17.0

- 注 1) 単独曲管部では曲管の両側に一体化長さ L_p を確保する。乙字管については 45° 曲管の一体化長さと同じ寸法とする。
- 2) 枝管の呼び径で判断し、枝管側に表中の一体化長さ L_{p2} を確保する。なお、本管側の一体化長さ L_{p1} は呼び径によらず両側とも 1m とする。
- 3) 表中の設計水圧は、0.75MPa は 0.75MPa 以下の場合、1.3MPa は 0.75MPa を越え 1.3MPa 以下の場合に適用する。なお、設計水圧は静水圧と水撃圧を加えたものとする。
- ※水撃圧について、ダクタイル鋳鉄管では目安として 0.45MPa～0.55MPa を見込む。
- 基本は、設計水圧 1.3MPa で設計すること。（以降同様）

○ 管端部および仕切弁部

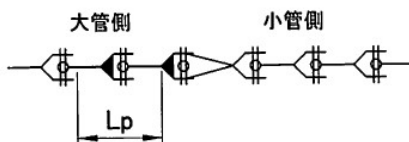


管端部および仕切弁部の一体化長さ

単位：m

呼び径	土被り h=0.6m		土被り h=0.8m		土被り h=1.0m		土被り h=1.2m		土被り h=1.4m	
	水圧 (MPa)		水圧 (MPa)		水圧 (MPa)		水圧 (MPa)		水圧 (MPa)	
	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3
75	7.5	12.5	5.5	9.5	4.5	8.0	4.0	6.5	3.5	5.5
100	9.0	15.5	7.0	12.0	5.5	9.5	5.0	8.0	4.0	7.0
150	12.5	21.0	9.5	16.5	8.0	13.5	6.5	11.5	6.0	10.0
200	15.5	26.5	12.0	20.5	10.0	17.0	8.5	14.5	7.0	12.0
250	18.5	31.5	14.5	25.0	12.0	20.5	10.0	17.5	9.0	15.0
300	21.0	36.0	16.5	28.5	14.0	24.0	12.0	20.5	10.5	17.5
350	—	—	—	—	—	—	13.5	23.0	12.0	20.0
400	—	—	—	—	—	—	15.0	25.5	13.0	22.5
450	—	—	—	—	—	—	16.5	28.5	14.5	25.0

○ 片落管部



片落管部の一体化長さ

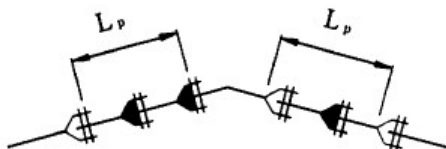
単位：m

呼び径		土被り h=0.6m		土被り h=0.8m		土被り h=1.0m		土被り h=1.2m		土被り h=1.4m	
		水圧 (MPa)		水圧 (MPa)		水圧 (MPa)		水圧 (MPa)		水圧 (MPa)	
大管	小管	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3
100	75	3.5	6.0	3.0	4.5	2.5	4.0	2.0	3.5	1.5	3.0
150	100	6.5	11.0	5.0	8.5	4.0	7.0	3.5	6.0	3.0	5.0
200	150										5.5
250	200										
300	100	18.0	31.5	14.5	25.0	12.0	20.5	10.5	17.5	9.0	15.5
	150	15.5	26.5	12.0	21.0	10.0	17.5	8.5	15.0	7.5	13.0
	200	11.5	19.5	9.0	15.5	7.5	13.0	6.5	11.0	5.5	9.5
	250	6.5	10.5	5.0	8.5	4.0	7.0	3.5	6.0	3.0	5.5
350	150	—	—	—	—	—	—	10.5	18.5	9.5	16.0
	200	—	—	—	—	—	—	9.0	15.0	8.0	13.5
	250	—	—	—	—	—	—	6.5	11.0	5.5	9.5
	300	—	—	—	—	—	—	3.5	6.0	3.0	5.5
400	200	—	—	—	—	—	—	11.0	19.0	9.5	16.5
	300	—	—	—	—	—	—	6.5	11.0	5.5	9.5
	350	—	—	—	—	—	—	3.5	6.0	3.0	5.5
450	200	—	—	—	—	—	—	9.0	15.5	8.0	13.5
	300	—	—	—	—	—	—	3.5	6.0	3.0	5.5

2. NS形ダクタイル鉄管

(引用元：NS形・S形ダクタイル鉄管管路の設計)

○ 曲管部



(呼び径：75～350)

単位：m

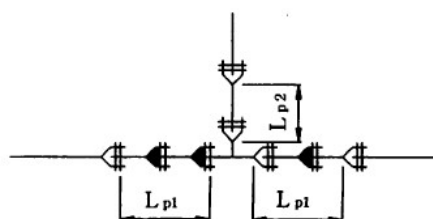
曲管角度	呼び径	土被りh=0.6m以上	
		水圧 (MPa)	
		0.75	1.3
45°を超え 90°以下	75	1.0	4.0
	100	1.0	5.0
	150	4.0	6.0
	200	4.0	8.0
	250	6.0	11.0
	300	7.0	16.0
	350	14.0	27.5
22.5°を超え 45°以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	2.0
	300	1.0	7.0
	350	7.0	20.0
22.5°以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	1.0
	300	1.0	2.0
	350	1.5	7.5

(呼び径:400～1000)

単位：m

曲管角度	呼び径	土被りh=1.5m	
		水圧 (Mpa)	
		0.75	1.3
90°	400	8.0	15.0
	450	8.0	16.0
	500	6.5	15.0
	600	8.0	17.5
	700	9.0	20.0
	800	10.5	22.5
	900	11.5	25.0
	1000	13.0	27.0
45°	400	4.0	7.0
	450	4.0	9.0
	500	2.0	7.5
	600	2.5	9.5
	700	3.0	10.5
	800	3.5	11.5
	900	3.5	12.0
	1000	4.0	14.5
22 1/2°	400	1.0	2.0
	450	1.0	3.0
	500	1.0	2.0
	600	1.5	2.5
	700	1.5	2.5
	800	2.0	3.0
	900	2.0	3.0
	1000	2.0	3.5
11 1/4°	400	1.0	2.0
	450	1.0	3.0
	500	1.0	1.0
	600	1.0	1.5
	700	1.0	1.5
	800	1.0	1.5
	900	1.0	2.0
	1000	1.0	2.0
5 5/8°	400	1.0	2.0
	450	1.0	3.0
	500	1.0	1.0
	600	1.0	1.0
	700	1.0	1.0
	800	1.0	1.0
	900	1.0	1.0
	1000	1.0	1.0

○ 水平T字管部



(呼び径:75~350)

単位 : m

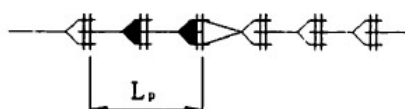
呼び径		土被りh=0.6m以上			
		水圧 (MPa)			
		0.75		1.3	
本管	枝管	Lp1	Lp2	Lp1	Lp2
75~350	75	1.0	1.0	1.0	1.0
	100	1.0	1.0	1.0	1.0
	150	1.0	1.0	1.0	6.0
	200	1.0	1.0	1.0	6.0
	250	1.0	2.0	1.0	7.0
	300	1.0	2.0	1.0	13.0
	350	1.0	14.0	1.0	27.5

(呼び径:400~1000)

単位 : m

呼び径		土被りh=1.5m			
		水圧 (Mpa)			
		0.75		1.3	
本管	枝管	Lp1	Lp2	Lp1	Lp2
400	300	1.0	5.0	1.0	10.0
	400	1.0	7.0	1.0	15.0
450	300	1.0	4.0	1.0	10.0
	450	1.0	8.0	1.0	17.0
500	350	1.0	6.0	1.5	6.0
	400	1.0	6.0	2.0	6.0
	450	1.0	6.0	3.0	6.0
	500	1.5	6.0	3.0	8.0
600	400	1.0	6.0	2.0	6.0
	450	1.0	6.0	2.5	6.0
	500	1.5	6.0	3.0	6.0
	600	2.0	6.0	4.0	9.5
700	450	1.0	6.0	2.0	6.0
	500	1.0	6.0	2.5	6.0
	600	1.5	6.0	4.0	6.0
	700	2.5	6.0	4.5	13.5
800	500	1.0	6.0	2.5	6.0
	600	1.5	6.0	3.5	6.0
	700	2.0	6.0	5.0	6.5
	800	3.0	6.0	5.0	12.5
900	600	1.5	6.0	3.0	6.0
	700	2.0	6.0	4.0	6.0
	800	2.5	6.0	5.5	8.0
	900	3.5	6.0	5.5	14.0
1000	600	1.0	6.0	2.5	6.0
	800	2.5	6.0	5.0	6.0
	1000	4.0	6.0	5.5	17.5

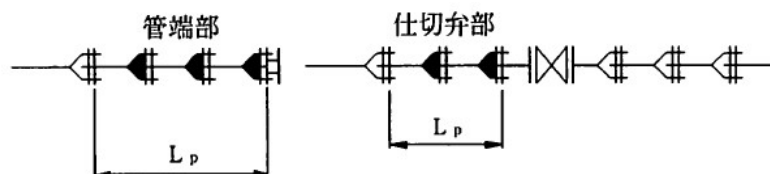
○ 片落管部



単位：m

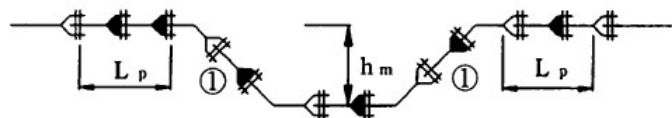
呼び径		土被り h=0.6m		土被り h=0.8m		土被り h=1.2m		土被り h=1.5m	
		水圧 (MPa)		水圧 (MPa)		水圧 (MPa)		水圧 (MPa)	
本管	枝管	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3
100	75	3.5	6.0	3.0	4.5	2.0	3.5	1.5	2.5
150	100	6.5	11.0	5.0	8.5	3.5	6.0	3.0	5.0
200	150	11.0	19.0	8.5	15.0	6.0	10.5	5.0	8.5
	200	6.5	11.0	5.0	8.5	3.5	6.0	3.0	5.0
250	100	15.0	25.5	11.5	20.0	8.5	14.0	7.0	11.5
	150	11.5	19.5	9.0	15.5	6.5	11.0	5.0	9.0
	200	6.5	11.0	5.0	8.5	3.5	6.0	3.0	5.0
300	100	18.0	31.5	14.5	25.0	10.5	17.5	8.5	14.5
	150	15.5	26.5	12.0	21.0	8.5	15.0	7.0	12.0
	200	11.5	19.5	9.0	15.5	6.5	11.0	5.5	9.0
	250	6.5	10.5	5.0	8.5	3.5	6.0	3.0	5.0
350	150	18.5	32.5	15.0	25.5	10.5	18.5	9.0	15.0
	200	15.5	26.5	12.5	21.0	9.0	15.0	7.5	12.5
	250	11.0	19.5	9.0	15.5	6.5	11.0	5.5	9.0
	300	6.0	10.5	5.0	8.5	3.5	6.0	3.0	5.0
400	150	—	—	—	—	—	—	10.5	18.0
	200	—	—	—	—	—	—	9.0	15.5
	250	—	—	—	—	—	—	7.5	12.5
	300	—	—	—	—	—	—	5.5	9.0
	350	—	—	—	—	—	—	3.0	5.0
450	200	—	—	—	—	—	—	11.0	18.5
	250	—	—	—	—	—	—	9.5	16.0
	300	—	—	—	—	—	—	7.5	13.0
	350	—	—	—	—	—	—	5.5	9.0
	400	—	—	—	—	—	—	3.0	5.0
500	250	—	—	—	—	—	—	11.0	19.0
	300	—	—	—	—	—	—	9.5	16.0
	350	—	—	—	—	—	—	7.5	13.0
	400	—	—	—	—	—	—	5.5	9.0
	450	—	—	—	—	—	—	3.0	5.0
600	300	—	—	—	—	—	—	13.0	22.0
	350	—	—	—	—	—	—	11.5	19.5
	400	—	—	—	—	—	—	9.5	16.5
	450	—	—	—	—	—	—	7.5	13.0
	500	—	—	—	—	—	—	5.5	9.0
700	400	—	—	—	—	—	—	13.0	22.5
	450	—	—	—	—	—	—	11.5	19.5
	500	—	—	—	—	—	—	9.5	16.0
	600	—	—	—	—	—	—	5.0	9.0
800	450	—	—	—	—	—	—	14.5	25.0
	500	—	—	—	—	—	—	13.0	22.5
	600	—	—	—	—	—	—	9.5	16.0
	700	—	—	—	—	—	—	5.0	9.0
900	500	—	—	—	—	—	—	16.0	28.0
	600	—	—	—	—	—	—	13.0	22.5
	700	—	—	—	—	—	—	9.5	16.0
	800	—	—	—	—	—	—	5.0	8.5
1000	600	—	—	—	—	—	—	16.5	28.0
	700	—	—	—	—	—	—	13.0	22.5
	800	—	—	—	—	—	—	9.5	16.0
	900	—	—	—	—	—	—	5.0	8.5

○ 管端部および仕切弁部



呼び径	土被りh=0.6m		土被りh=0.8m		土被りh=1.0m		土被りh=1.2m		土被りh=1.5m	
	水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)	
	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3
75	7.5	12.5	5.5	9.5	4.5	8.0	4.0	6.5	3.0	5.5
100	9.0	15.5	7.0	12.0	5.5	9.5	5.0	8.0	4.0	6.5
150	12.5	21.0	9.5	16.5	8.0	13.5	6.5	11.5	5.5	9.5
200	15.5	26.5	12.0	20.5	10.0	17.0	8.5	14.5	7.0	12.0
250	18.5	31.5	14.5	25.0	12.0	20.5	10.0	17.5	8.5	14.5
300	21.0	36.0	16.5	28.5	14.0	24.0	12.0	20.5	9.5	16.5
350	23.5	40.5	18.5	32.5	15.5	27.0	13.5	23.0	11.0	19.0
400	—	—	—	—	—	—	—	—	12.5	21.5
450	—	—	—	—	—	—	—	—	13.5	23.5
500	—	—	—	—	—	—	—	—	15.0	25.5
600	—	—	—	—	—	—	—	—	17.0	29.5
700	—	—	—	—	—	—	—	—	19.5	33.5
800	—	—	—	—	—	—	—	—	21.5	37.0
900	—	—	—	—	—	—	—	—	23.5	40.5
1000	—	—	—	—	—	—	—	—	25.5	44.5

○ 伏せ越し部



(呼び径: 75～350)

単位: m

曲管角度	呼び径	土被り $h=0.6\text{m}$ 以上	
		水圧 (Mpa)	
		0.75	1.3
45° を超え 90° 以下	75	1.0	4.0
	100	1.0	5.0
	150	4.0	6.0
	200	4.0	8.0
	250	6.0	11.0
	300	7.0	16.0
	350	10.0	12.0
22.5° を超え 45° 以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	2.0
	300	1.0	7.0
	350	15.0	29.0
22.5° 以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	1.0
	300	1.0	2.0
	350	16.5	30.0

(呼び径: 400～450)

単位: m

曲管角度	呼び径	土被り $h=1.5\text{m}$	
		水圧 (Mpa)	
		0.75	1.3
45° を超え 90° 以下	400	8.0	15.0
	450	8.0	16.0
22.5° を超え 45° 以下	400	4.0	7.0
	450	4.0	9.0
22.5° 以下	400	1.0	2.0
	450	1.0	3.0

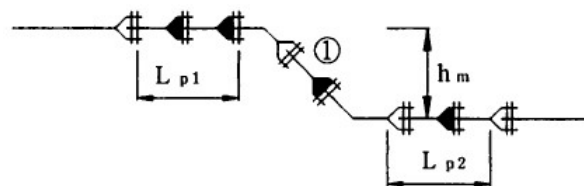
(呼び径:500~1000)

単位 : m

モーメント アーム hm	呼び径	土被り h=1.5m	
		水圧 (MPa)	
		0.75	1.3
直結(45°)	500	1.0	2.5
	600	1.0	3.5
	700	1.0	5.0
	800	1.0	5.0
	900	1.0	8.0
	1000	1.0	12.5
2m	500	7.0	15.5
	600	7.5	17.5
	700	7.5	19.0
	800	7.5	20.0
	900	8.0	21.0
	1000	8.5	24.0
3m	500	8.5	17.0
	600	9.5	19.5
	700	10.5	21.5
	800	11.0	23.5
	900	11.0	24.5
	1000	12.5	27.5
4m	500	9.5	18.0
	600	10.5	20.5
	700	11.5	23.0
	800	12.5	25.0
	900	13.0	26.5
	1000	14.5	29.5
5m	500	10.0	18.5
	600	11.5	21.5
	700	12.5	23.5
	800	13.5	26.0
	900	14.0	28.0
	1000	15.5	31.0

※ 左右の土被りとモーメントアームが等しい場合を示す。
 表中の直結とは、45° 曲管で曲管間の切管①がない場合を示す。
 また、水平切り回し部の一体化長さも全く同一となる。

○ 垂直 S ベンド部



(呼び径:75~350)

単位 : m

曲管角度	呼び径	土被り $h=0.6\text{m}$ 以上	
		水圧 (Mpa)	
		0.75	1.3
45°を超え 90°以下	75	1.0	4.0
	100	1.0	5.0
	150	4.0	6.0
	200	4.0	8.0
	250	6.0	11.0
	300	7.0	16.0
	350	10.0	12.0
22.5°を超え 45°以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	2.0
	300	1.0	7.0
	350	15.0	29.0
22.5°以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	1.0
	300	1.0	2.0
	350	16.5	30.0

(呼び径:400~450)

単位 : m

曲管角度	呼び径	土被り $h=1.5\text{m}$	
		水圧 (Mpa)	
		0.75	1.3
45° を超え 90° 以下	400	8.0	15.0
	450	8.0	16.0
22.5° を超え 45° 以下	400	4.0	7.0
	450	4.0	9.0
22.5° 以下	400	1.0	2.0
	450	1.0	3.0

(呼び径:500～1000)

単位：m

モーメント アーム h m	呼び径	土被り h=1.5m			
		水圧 (Mpa)			
		0.75		1.3	
		Lp1	Lp2	Lp1	Lp2
直結(45°)	500	2.0	2.0	3.0	2.5
	600	2.0	2.0	3.5	3.5
	700	2.5	2.5	5.0	4.5
	800	2.5	2.5	5.0	4.5
	900	3.0	3.0	8.0	7.0
	1000	3.0	3.0	9.5	8.5
2m	500	7.0	5.5	15.5	12.0
	600	7.5	6.0	17.5	13.5
	700	7.5	5.5	19.0	14.0
	800	7.5	5.5	20.0	15.0
	900	8.0	5.5	21.0	15.5
	1000	8.5	6.0	24.0	17.0
3m	500	8.5	6.0	17.0	12.0
	600	9.5	6.5	19.5	13.0
	700	10.5	7.0	21.5	14.0
	800	11.0	7.0	23.5	15.0
	900	11.0	7.0	24.5	16.0
	1000	12.5	8.0	27.5	17.5
4m	500	9.5	6.0	18.0	12.0
	600	10.5	6.5	20.5	13.0
	700	11.5	7.0	23.0	13.5
	800	12.5	7.5	25.0	14.5
	900	13.0	7.5	26.5	15.5
	1000	14.5	8.0	29.5	17.0
5m	500	10.0	6.0	18.5	11.5
	600	11.5	6.5	21.5	12.5
	700	12.5	7.0	23.5	13.5
	800	13.5	7.5	26.0	14.5
	900	14.0	8.0	28.0	15.5
	1000	15.5	8.5	31.0	16.0

※ 土被りは Lp1 側を示す。

なお、表中の直結とは、45° 曲管で曲管間の切管①がない場合を示す。また水平Sベンド部は、左右とも Lp1 側を確保すれば良い。

3. HIVP-RR形・RRロング形 受口管

水平・垂直屈曲の場合の一体化長さ

呼び径 (mm)	内圧 P (MPa)	水平方向																		垂直方向			
		90° 曲管						45° 曲管						22° 1/2曲管								11° 1/4曲管	
		土被り H(m)						土被り H(m)						土被り H(m)						土被り H(m)		土被り H(m)	
		0.6	0.8	1.2	0.6	0.8	1.2	0.6	0.8	1.2	0.6	0.8	1.2	0.6	0.8	1.2	0.6	0.8	1.2	0.6	0.8	1.2	
50	0.50	1.87	1.42	0.96	1.20	0.91	0.62	1.20	0.91	0.62	0.72	0.55	0.37	0.41	0.31	0.21	0.22	0.16	0.11	3.10	2.35	1.59	
	0.75	2.81	2.13	1.44	1.80	1.37	0.92	1.09	0.82	0.56	0.61	0.46	0.31	0.33	0.25	0.17	0.465	0.353	0.238	4.65	3.53	2.38	
	1.00	3.75	2.85	1.92	2.41	1.83	1.23	1.45	1.10	0.74	0.81	0.62	0.42	0.43	0.33	0.22	0.620	0.471	0.318	6.20	4.71	3.18	
75	0.50	2.72	2.07	1.41	1.74	1.33	0.90	1.05	0.80	0.54	0.59	0.45	0.30	0.31	0.24	0.16	0.450	0.343	0.233	4.50	3.43	2.33	
	0.75	4.08	3.11	2.11	2.62	2.00	1.35	1.57	1.20	0.81	0.88	0.67	0.46	0.47	0.36	0.24	6.74	5.15	3.49	8.99	6.86	4.66	
	1.00	5.72	4.15	2.82	3.49	2.66	1.81	2.10	1.60	1.09	1.18	0.90	0.61	0.63	0.48	0.33	8.99	6.86	4.66	11.80	9.13	6.28	
100	0.50	3.42	2.62	1.79	2.19	1.68	1.15	1.32	1.01	0.69	0.74	0.57	0.39	0.39	0.30	0.21	5.65	4.33	2.95	7.87	6.09	4.19	
	0.75	5.20	3.93	2.68	3.29	2.52	1.72	1.98	1.52	1.03	1.11	0.85	0.58	0.59	0.45	0.31	8.47	6.50	4.43	11.30	8.66	5.90	
	1.00	8.03	5.39	3.57	4.38	3.36	2.29	2.64	2.02	1.38	1.48	1.13	0.77	0.79	0.61	0.41	11.30	8.66	5.90	15.74	12.17	8.38	
150	0.50	4.76	3.68	2.53	3.05	2.36	1.62	1.84	1.42	0.98	1.03	0.80	0.55	0.55	0.43	0.29	7.87	6.09	4.19	11.80	9.13	6.28	
	0.75	8.54	5.86	3.80	4.58	3.54	2.44	2.75	2.13	1.47	1.55	1.20	0.82	0.83	0.64	0.44	11.80	9.13	6.28	15.74	12.17	8.38	
	1.00	12.47	8.90	5.11	7.85	4.72	3.25	3.67	2.84	1.95	2.06	1.59	1.10	1.10	0.85	0.59	15.74	12.17	8.38				

単位:m

※ 異形管本体の長さを考慮していない。内圧は、静水圧 + 水撃圧である。

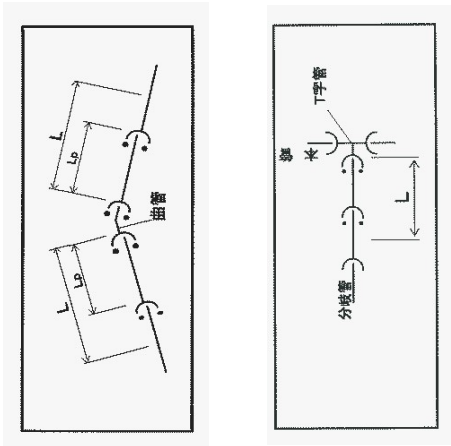
※ 水撃圧について、硬質塩化ビニル管では0.25MPaを見込む。基本は、設計水圧1.00MPaで設計すること。

分岐側のみ使用した場合のT字管の一体化長さ

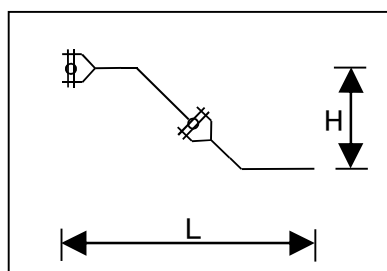
呼び径 (mm)	内圧 P (MPa)	分岐管径												単位 :m		
		50				75				100						
		土被り H(m)				土被り H(m)				土被り H(m)						
		0.6	0.8	1.2		0.6	0.8	1.2		0.6	0.8	1.2			0.6	0.8
50	0.50	3.10	2.35	1.59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.75	4.65	3.53	2.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1.00	6.20	4.71	3.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75	0.50	3.03	2.31	1.57	4.50	3.43	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.75	4.55	3.47	2.35	6.74	5.15	3.49	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1.00	6.06	4.63	3.14	8.99	6.86	4.66	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100	0.50	2.97	2.28	1.55	4.41	3.38	2.30	5.55	4.33	2.95	-	-	-	-	-	-
	0.75	4.46	3.42	2.33	6.61	5.07	3.46	8.47	6.50	4.43	-	-	-	-	-	-
	1.00	5.95	4.56	3.10	8.82	6.76	4.61	11.30	8.66	5.90	-	-	-	-	-	-
150	0.50	2.86	2.21	1.52	4.24	3.28	2.26	5.44	4.21	2.89	7.87	6.09	4.19	6.28	4.38	2.98
	0.75	4.29	3.32	2.28	6.37	4.92	3.39	8.16	6.31	4.34	11.80	9.13	6.28	8.38	5.79	4.19
	1.00	5.72	4.43	3.05	8.49	6.57	4.52	10.87	8.41	5.79	15.74	12.17	8.38	11.80	9.13	6.28

※ 土被りは、本管側の土被りである。内圧は、静水圧 + 水撃圧である。

※ 水撃圧について、硬質塩化ビニル管では0.25MPaを見込む。基本は、設計水圧1.00MPaで設計すること。



(参考) Sベンド寸法表



DIP GX形

呼び径	90°		45°		22 1/2°		11 1/4°		5 5/8°	
	L	H	L	H	L	H	L	H	L	H
75	480	480	682	282	692	137	673	66	678	33
100	520	520	716	296	731	145	713	70	718	35
150	630	630	802	332	788	156	732	72	738	36
200	750	750	904	374	855	172	812	79	818	40
250	850	850	973	403	884	176	812	79	818	40
300	815	815	973	403	904	180	792	78	748	37
400	1035	1035	1118	463	962	191	832	82	778	38

DIP NS形

呼び径	90°		45°		22 1/2°		11 1/4°		5 5/8°	
	L	H	L	H	L	H	L	H	L	H
300	730	730	785	325	702	140	634	62	589	29
350	840	840	871	361	750	149	664	65	609	30
400	965	965	973	403	818	163	713	70	648	32
450	1105	1105	1075	445	875	174	743	73	668	33
500	1360	1360	1357	562	1510	300	1555	153	1566	77
600	1555	1555	1494	619	1568	312	1604	158	1616	79
700	1810	1810	1741	721	1857	369	1902	187	1915	94
800	2015	2015	1886	781	2030	404	2090	206	2105	103
900	2360	2360	2288	948	2366	471	2426	239	2444	120
1000	2565	2565	2450	1015	2530	503	2595	256	2614	128

HPPE

呼び径	90°		45°		22 1/2°		11 1/4°	
	L	H	L	H	L	H	L	H
50	370	370	461	191	423	84	416	41
75	540	540	819	339	731	145	713	70
100	610	610	836	346	750	149	792	78
150	810	810	1058	438	1020	203	971	96
200	970	970	1161	481	1135	226	1050	103

HIVP(ゴム輪形継手・離脱防止内蔵型)

呼び径	90°		45°		22 1/2°		11 1/4°		5 5/8°	
	L	H	L	H	L	H	L	H	L	H
50	600	600	717	297	693	138	654	64	638	31
75	820	820	905	375	808	161	733	72	718	35
100	935	935	999	413	875	174	782	77	748	37
150	1290	1290	1298	537	1097	218	951	94	878	43

※施工時には実際の寸法を確認してから布設すること。

修 繕 伝 票

修繕依頼者
☐ 1. 水道局
☐ 2. 組合
☐ 3. 施主直接

修繕業者名			メーター番号				
			口径				
受付年月日	令和	年	月	日	修繕箇所管種		
	午前・午後	時	分頃		口径		
修繕通報者				電話番号			
修繕場所	高崎市	町	番地	宅・宅前			
修繕依頼内容							
修繕箇所	A・B・C・D（公道・宅内）・E・F・G・H						
配・給水管系統図	A: 配水管 B: サドル分水栓 C: 給水管（乙手前） D: 乙止水栓 E: 給水管（乙先） F: メーター周りパッキン G: 丙止水栓 H: 二次側（要協議）						
修繕日時・人数	人	月	日	午前・午後	時 分 ～ 午前・午後 時 分まで		
修繕日時・人数	人	月	日	午前・午後	時 分 ～ 午前・午後 時 分まで		
修繕使用材料	形状	単位	数量	機械器具等 共通仮設等 交通誘導員	単位	数量	
					ダンプ	h	
					バックホウ	h	
					ランマ	h	
					振動コンパクト	h	
					振動ローラー	h	
					水中ポンプ	h	
				削岩機	h		
				備考			
				【修繕場所案内図】 （住宅地図 頁 左側・右側 区画 番）			
As切断（直営・委託）	t = cm	m					
再生アスコン		t					
乳剤		ℓ					
洗砂		m ³					
再生碎石		m ³					
埋設シート		m					
防食テープ		m					